

チーム鶴工へようこそ！

夢と希望を胸に272名の新入生がチーム鶴工の仲間になりました。4月8日は天気にも恵まれ、名残惜しそうに舞う桜の花びらが新入生を歓迎してくれました。これから始まる学び舎での生活に、不安と期待でワクワクドキドキの入学式だったことでしょう。1年生のクラス担任も、新採用の先生方が多いので、新入生たちと同じ気持ちで迎えたことと思います。新入生も教員も皆、今日のこの日を忘れることなく、チームの仲間としてチャレンジし、それぞれの夢に向かってともに成長して欲しいと願います。新入生代表の橋実知(1D)さんは、「鶴工生の名に恥じぬように」と既に鶴工生としての自覚をもった頼もしい宣誓を行いました。



鶴工生として、はじめの一步

新入生向け教育プログラムを4月14～15日の2日間で行いました。2日間の活動を通じて、鶴工生としての自覚をもち、集団生活を営む協調性や思いやりを涵養します。また、生徒間、生徒教職員間の親睦により、心の通ったクラスづくりや友達づくりを目指します。プログラムでは、教頭講話や学校生活を楽しく過ごすためのルールの話、そして親睦を深めるための長縄大会、校歌コンクールが行われました。担当した先生方からは、一斉指導にもきちんと応え、とても気持ちの良い、素直な生徒たちですとの評判でした。鶴工生として上々の一歩を踏み出しました。



社会とつながる出前実験教室

4月20日、日本製鉄様のイベントを鶴工生が盛り上げました。化学工学科の生徒たちが「オモシロ実験」の企画・運営を担い、地域の子供もたちに化学の実験体験を行いました。2回の実験は列ができるほど人気で、会場は子どもたちが真剣に取り組む姿や、驚きと感動の声がありました。会社の方からは「子供を連れて良く実験に参加したことを思い出す」との感想や御礼の言葉を頂きました。企業と学校が連携して地域を盛り上げ、生徒たちは教えることの楽しさや成長を感じた経験になりました。



歓迎遠足を楽しむ

4月25日に歓迎遠足を行いました。毎年恒例となり、とても楽しみにしているイベントの一つです。学科ごとに分かれ、大分スポーツ公園まで生徒たちと一緒に歩きますが、歩きながらの会話がとても大切な時間です。1年生とは「学校生活には慣れたか、部活動や友達との時間は楽しいか、なぜ鶴工を選んだか」など他愛もない話をし、2・3年生とは「進路や将来設計について」の話題で会話をしました。広場では、生徒たちが親睦会で弾ける笑顔を見ながら、新しい先生方と話をするのが楽しい時間です。この一年、生徒たちはどんな活躍や成長を見せてくれるのだろうか、楽しみな未来を想像しながら帰路につきました。